

さんとめ通信 6号 2024・10月

さんとめどんぐり村運営委員会

9月14日(土)に「どんぐりヤマで木工体験」を開催しました。

3家族の参加者と一緒に、クイズ&ゲーム&トーチ作りを楽しみました。

川口市・朝霞市・ふじみ野市から3家族が応募してくれました。大人6名に子ども7名の参加でした。まず、事務局からどんぐり村の簡単な説明の後、前半の約40分は、皆でリヤカーや一輪車を使った枝拾いをやりました。樹皮当てクイズの問題を配布して、一緒に樹の名前も調べてもらいました。大人も子供も、珍しい虫やカナヘビなどを捕まえながら、スタッフの岩井君が燃やす焚火場まで、枝を一杯運んでくれました。



麦茶で喉をうるおしひと休みしてから、正解発表。なんと全員が正解でした。親子でスマホも駆使しながら、実際の樹皮の名前を学んでもらえました。問題の写真の樹皮には、消滅してしまったものもあり、保護活動の大切さを、スタッフの菊一さんが説明してくれました。

続いては、4チームに分かれ、薪積み競争です。焚火場の脇に積んである色々な形の薪を、3分制限で2回、いかに高く積み上げるかを競いました。どんな薪を選び、どう積みあげるか、チームの個性が発揮されました。第1位は、なんと2m40cmまで届きました。賞品は、前日に畑で収穫した長ナス・米ナス・ヘチマ・万願寺とうがらしなど。上位チームから順番に、好きな野菜を選んでもらいました。



途中、暑さ疲れのため、1家族が先に帰りましたが、残り2家族は、山崎さんの指導で、自分たちの気に入った丸太を材料にトーチづくりをやりました。チェーンソーやドリルを使うところは、やはり山崎さんや菊一護さんにお願ひしました。子ども向けの竹笛やどんぐり笛も、山崎さんは持って来てくれ、親子最後まで楽しむことができました。 蒸し暑さが増してきたので、12時台で解散としました。(事務局 赤間)



【参加された皆さんからの感想の抜粋です。】

- ・ゲームがあってより楽しめました。子どもたちも自由にさせてもらって楽しんでいました。
 - ・ヤマの整備と聞いて、子供たちが飽きて途中で作業を投げ出さないか心配でしたが、枝拾いなら2時間ぐらいできそうです。枝をそのまま火の中に入れる事も楽しかったようで、枝拾いはもっとやりたそうでした。バッタ・カナヘビを捕まえるのも楽しそうで、お昼ごはんを持参して午後も好きなだけ残れたらと思いました。虫取り企画や山菜摘みなどもあったら良いなと思います。木の枝とどんぐりを使った笛、そしてお茶の用意もしてくださって、ありがとうございました。家でも枝笛を吹いて遊んでいました。
- 次回は子育て仲間もお誘ひします。



・枝拾いが思ったより楽しく、もっと長い時間できそうでした。

意外にも付き添いで来ただけの旦那には好感触で、

「子供の頃に山で遊んだのを思い出して楽しかった」と言っていました。

タラの木を見て、タラの芽がどんな風に生えて、いかに貴重な食材であるか、

夫から聞きました。スタッフの皆さんが沢山話しかけてくれて

ヤマの事を色々教えてくれたのも良かったです。

どんぐりヤマのどんぐりを自宅で育てて、数年後にヤマへ植樹するイベントがあれば、

参加したいです。さらに何年後かに孫とどんぐりの木を眺めに行く事が出来たら…なんて思いました。



これからも、どんぐりヤマのイベントは続きます。ぜひまたいらして下さい。

秋のヤマの美しさもぜひ味わって欲しいです。

そして薬丸理事をはじめとしたスタッフの皆さん、ほんとうにお疲れ様でした。(事務局 赤間)